

# 市内経営動向調査 平成26年4月～6月期（第1四半期）

- ① 調査の時期 平成26年7月 ② 調査の期間 平成26年4月～6月  
③ 調査対象企業 280社 ④ 回収状況165社（回答率58.9%）  
⑤ 調査内容 建設業、製造業、卸・小売業、サービス業を営む企業に対して、佐世保の景況感、業界の景況感、前年同期比売上動向（H26.4月～6月）、前年同期比採算動向（H26.4月～6月）を調査

※DI=ディフュージョン・インデックスとは《「増加・好転の割合」－「減少・悪化の割合」》

## 【総括】

### ○全業種

サービス業の業界景況感でDI値が上向いたものの、他の景況感および動向は悪化した。また、前回の調査では全業種の売上げ動向のDI値が18年ぶりにプラス（+14.7）に転じたが、今回-23.7とマイナスとなった。そのほか、佐世保の景況感、業界の景況感、採算動向のいずれのDI値も悪化した。特に前回に引き続き、いずれの調査項目もマイナス幅が広がった建設業では、公共工事の受注増によって経営が好転したとの回答がある一方で、公共工事の減少による受注量の減少が塗装・管工事・建設業・電気工事・舗装業・内装業など、多岐にわたる業種で回答あった。また、人材不足・獲得に苦慮しているとの声が多く聞かれ、若年労働者の確保・育成の解決が喫緊の課題となっている。

### ○佐世保市内の景況感

佐世保市内の景況感のDI値は、前回に続いて建設業とサービス業が悪化するとともに、製造業と卸・小売業においてもDI値が悪化に転じるなど、全ての業種で悪化を辿った。内訳をみると、サービス業を除く建設業、製造業、卸・小売業において、『大変悪い』『悪い』と回答した割合が高くなった。サービス業では若干『大変悪い』『悪い』と回答した割合が減少したものの、『良い』と回答した割合が減少したため相対的にDI値は3.2ポイント減少する結果となった。

### ○市内業界の景況感

市内業界の景況感では、改善傾向にあった製造業、卸・小売業においてDI値が悪化、建設業、サービス業は前回に続きDI値が悪化するなど全ての業種でDI値が悪化した。内訳をみると、サービス業を除く建設業、製造業、卸・小売業において、『大変悪い』『悪い』と回答した割合が高くなったことが原因に挙げられる。一方でサービス業では『大変悪い』『悪い』と回答した割合が下がっており、DI値が6.3ポイント改善する結果となった。

### ○前年同期比の売上動向

前年同期比の売上動向では、前回は建設業以外のDI値は回復基調にあったものの、一転し、全ての業種で悪化した。全業種で、『減少』『やや減少』と回答した割合が高くなったことが原因に挙げられる。特に、消費税増税に伴うかけ込み需要の効果が大きかった卸・小売業において、動きが顕著に表れており、前回調査では『増加』『やや増加』が全体の過半数を占めたが、今回の調査では『減少』『やや減少』が大きく増加し、全体の過半数を占めるなど、消費税増税に伴うかけ込み需要の効果の反動が窺える結果となった。

### ○前年同期比の採算動向

前年同期比の採算動向では、前回は建設業以外のDI値は回復基調にあったものの、売上動向と同様に一転し、全ての業種で悪化した。内訳をみると、全ての業種において、『悪化』『やや悪化』と回答した割合が高くなったことが原因に挙げられる。特に、消費税増税に伴うかけ込み需要の効果が大きかった卸・小売業において、動きが顕著に表れており、売上高動向と同様に『悪化』『やや悪化』が大きく増加し、全体の過半数を占めた。

## 【概 況】

(全業種) ※ ( ) 内は前回調査値

### ① 市内の景況感について

「大変良い」0% (0%)、「良い」1.8% (10.3%)、「普通」53.4% (53.4%)、「悪い」41.7% (33.3%)、「大変悪い」3.1% (3.0%) となり、DIは▲43.0 (▲26.0) と▲17.0ポイント悪化した。業種別DIでは、すべての業種がマイナスに作用した。

### ② 市内における業界の景気動向について

「大変良い」1.2% (0.6%)、「良い」4.9% (11.5%)、「普通」52.4% (52.2%)、「悪い」34.8% (32.7%)、「大変悪い」6.7% (3.0%) となり、DIは▲35.4 (▲23.6) と▲11.8ポイント悪化した。業種別DIでは、建設業、製造業、卸・小売業でマイナスに作用し、サービス業ではプラスに作用した。

### ③ 前年同期（平成25年4月～6月）比の売上動向について

「増加」4.8% (9.1%)、「やや増加」15.1% (31.0%)、「変わらない」36.4% (34.5%)、「やや減少」24.9% (16.36%)、「減少」18.8% (9.1%) となり、DIは▲23.7 (14.7) と▲38.4ポイント悪化した。業種別DIでは、すべての業種がマイナスに作用した。

### ④ 前年同期（平成25年4月～6月）比の採算動向について

「好転」3.0% (6.1%)、「やや好転」12.9% (17.8%)、「変わらない」40.5% (49.1%)、「やや悪化」29.5% (18.4%)、「悪化」14.1% (8.6%) となり、DIは▲27.7 (▲3.1) と▲24.6ポイント悪化した。業種別DIでは、すべての業種がマイナスに作用した。

《業種別概況》 ※（ ）内は前回調査値

**(建設業)** 回答：78社中53社、回答率67.9%

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」0% (6.0%)、「普通」56.9% (56.0%)、「悪い」41.1% (36.0%)、「大変悪い」2.0% (2.0%) となり、D Iは▲43.1 (▲32.0) と▲11.1ポイント悪化した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」1.9% (0%)、「良い」5.7% (8.0%)、「普通」55.8% (62.0%)、「悪い」30.8% (28.0%)、「大変悪い」5.8% (2.0%) となり、D Iは▲28.9 (▲22.0) と▲6.9ポイント悪化した。

○前年同期比の売上は、「増加」3.8% (8.0%)、「やや増加」9.4% (26.0%)、「変わらない」47.2% (32.0%)、「やや減少」18.9% (18.0%)、「減少」20.7% (16.0%) となり、D Iは▲26.4 (0) ▲26.4とポイント悪化した。

○前年同期比の採算動向は「好転」3.8% (6.3%)、「やや好転」11.3% (10.4%)、「変わらない」43.4% (47.9%)、「やや悪化」24.5% (22.9%)、「悪化」17.0% (12.5%) となり、D Iは▲26.4 (▲18.7) と▲7.7ポイント悪化した。

#### 《主な自由意見》

##### ○昨年同期の売上動向

好転要因では、公共工事・民間工事の受注増加との声が、電気・管工事・機械器具設置・建設などの業種からあった。

悪化要因では、公共工事・民間工事の受注減少、建設市場の縮小、公共工事発注の遅れなどの回答があった。

##### ○昨年同期の採算動向

好転要因では、公共工事の受注増加、大型工事の受注計上や外注費の削減などの声が寄せられた。

悪化要因では、資材の値上げ・燃料高騰・外注費の増加や消費税増税の影響によるものなどの声が寄せられた。

##### ○経営上の問題

団塊世代の退職や新卒者の市外流出などの理由から現場技術者や若年労働者の不足など人材確保に困っている声が多く寄せられた。また受注減少を危惧する声も多く寄せられた。

**(製造業) 回答：64社中36社、回答率56.2%**

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」0% (8.8%)、「普通」47.2% (55.9%)、「悪い」52.8% (32.4%)、「大変悪い」0 (2.9%) となり、DIは▲52.8 (▲26.5) と▲26.3ポイント悪化した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」0% (8.9%)、「普通」55.6% (52.9%)、「悪い」36.1% (35.3%)、「大変悪い」8.3% (2.9%) となり、DIは▲44.4 (▲29.3) と▲15.1ポイント悪化した。

○前年同期比の売上げは、「増加」5.6% (2.9%)、「やや増加」19.4% (31.4%)、「変わらない」33.3% (48.6%)、「やや減少」19.5% (11.4%)、「減少」22.2% (5.7%) となり、DIは▲16.7 (17.2) と▲33.9ポイント悪化した。

○前年同期比の採算動向は「好転」2.9% (2.9%)、「やや好転」11.8% (11.8%)、「変わらない」38.2% (64.7%)、「やや悪化」35.3% (11.8%)、「悪化」11.8% (8.8%) となり、DIは▲32.4 (▲5.9) と▲26.5ポイント悪化した。

**《主な自由意見》**

○昨年同期の売上動向

好転要因では、企業の生産・設備投資の増加、受注の増加、自助努力等の回答があった。

悪化要因では、受注の減少や消費税増税の影響によるものなどの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、受注の増加、市場価格の安定、人員整理などの回答があった。

悪化要因では、受注の減少、原材料の高騰、販売価格の低迷、消費税増税の影響などの回答があった。

○経営上の問題

技術者不足、原材料費の高騰、資金繰りなどの回答があった。

**(卸・小売業) 回答73社中43社、回答率58.9%**

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」0% (11.6%)、「普通」51.1% (53.5%)、「悪い」41.9% (30.2%)、「大変悪い」7.0% (4.7%) となり、DIは▲48.8 (▲23.3) と▲25.5ポイント悪化した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」0% (13.9%)、「普通」46.5% (46.5%)、「悪い」44.2% (34.9%)、「大変悪い」9.3% (4.7%) となり、DIは▲53.5 (▲25.7) と▲27.8ポイント悪化した。

○前年同期比の売上げは、「増加」2.3% (11.6%)、「やや増加」16.3% (44.2%)、「変わらない」27.9% (27.9%)、「やや減少」30.2% (9.3%)、「減少」23.3% (7.0%) となり、DIは▲34.9 (39.5) と▲74.4ポイント悪化した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0% (7.0%)、「やや好転」9.3% (30.2%)、「変わらない」39.5% (41.9%)、「やや悪化」34.9% (13.9%)、「悪化」16.3% (7.0%) となり、DIは▲41.9 (16.3) と▲58.2ポイント悪化した。

**《主な自由意見》**

○昨年同期の売上

好転要因では、販売物の単価の上昇、取引先の受注好転、県外の販売事業の牽引などの回答があった。

悪化要因では、得意先の減少、消費の低迷、円安による仕入価格の上昇、消費税増税の反動などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、新規客の確保、経費削減、販売物の単価上昇などの回答があった。

悪化要因では、売上減少、仕入価格の高騰、消費税増税の反動などの声が寄せられた。

○経営上の問題

粗利率の低下による収益の悪化、資金繰りの悪化、消費税10%実施時の売上への影響や納税準備への不安などの回答があった。

(サービス業) 回答65社中33社、回答率50.7%

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」9.1% (15.8%)、「普通」57.6% (47.4%)、「悪い」30.3% (34.2%)、「大変悪い」3.0% (2.6%) となり、DIは▲24.2 (▲21.0) と▲3.2ポイント悪化した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」3.0% (2.6%)、「良い」15.2% (15.8%)、「普通」51.5% (44.8%)、「悪い」27.3% (34.2%)、「大変悪い」3.0% (2.6%) となり、DIは▲12.1 (▲18.4) と6.3ポイント改善した。

○前年同期比の売上げは、「増加」9.1% (13.5%)、「やや増加」18.2% (21.6%)、「変わらない」33.3% (32.5%)、「やや減少」33.3% (27.0%)、「減少」6.1% (5.4%) となり、DIは▲12.1 (2.7) と14.8ポイント悪化した。

○前年同期比の採算動向は「好転」6.1% (7.9%)、「やや好転」21.2% (18.4%)、「変わらない」39.4% (44.7%)、「やや悪化」24.2% (23.7%)、「悪化」9.1% (5.3%) となり、DIは▲6.1 (▲2.7) と3.4ポイント悪化した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売上

好転要因では、HTBなどへの観光増加に伴う宿泊客の増加、宴会婚礼の増加などの声があった。  
悪化要因では、客数の減少、人材不足、大型物件の受注減少などの声があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、受注単価の向上、宿泊客の増加などの声があった。  
悪化要因では、高額商品の売上減少、燃料費の高騰、施工件数の減少などの声が寄せられた。

○経営上の問題

人手不足、人材育成、燃料費の高騰、施設の老朽化などを心配する声があった。

以上